

	<h1>進取の気概</h1> <p>(校長室だより)</p>	<p>有田市立箕島中学校</p> <p>自主 友愛 剛健</p>	R4・10・24
			No.39①

「道聞かれ顔」という言葉がるそうです。みなさん、聞いたことがありますか。接遇マナーインストラクターの米岡光子さんという方がこのように言っています。



「道聞かれ顔」という言葉があります。

「あの人、見た感じ、親切そうだから、道を聞いてもきっと教えてくれるだろう」と思われて、いろんな人から声を掛けられて道を尋ねられる、そんな人のことです。

ぱっと見て好感を持たれるのだと思います。「道聞かれ顔」の人って、第一印象が極めていいんですね。

第一印象で「感じがいいなあ〜」と好感を持つと、次にくる人間の心理は安心感です。これがとても重要です。

営業を仕事にしている人は、特にそうですよね。第一印象で「感じがいい人だなあ」と思われると、お客様は安心して心を開いてくれます。お客様と良い人間関係を作るチャンスができるのです。人間関係ができると十分に説明ができて満足していただけます。それが、お客様と信頼関係をつくることにつながります。

(中略)

相手をどう判断するのか。それをアメリカの非言語コミュニケーション研究家、アルバート・メラビアンも、公式化して明らかにしました。

まず、「雰囲気(表情、服装、姿勢)で判断する」が55%。次に、「話しの調子(声の大きさ、声の高低、話すスピード)で判断する」が38%。最後は、「言葉」。これが7%でした。

やっぱり、雰囲気の影響が大きいです。笑顔で、身なりを整えて、姿勢が良いと相手を信用させることができます。この効果はとても強力。つまり、見た目って、とても重要なのです。



みなさんは知らない人から道を聞かれたことがありますか？よく道を聞かれるという人は喜んでください。もし自分が道に迷っていて道を聞くなら、親切そうな人、誠実そうな人を選んで道を聞くはずだと思います。話したこともなく全く知らない人なのに、私たちは「この人は親切そうだ」「優しく教えてくれそうだ」などと、その人の雰囲気から一瞬で判断しているのです。みなさん、ぜひ表情、服装、姿勢に気をつけて、良い雰囲気をかもし出しましょう。

「道聞かれ顔」を意識して生活しましょう。

	<h1>進取の気概</h1> <p>(校長室だより)</p>	<p>有田市立箕島中学校</p> <p>自主 友愛 剛健</p>	R4・10・24
			No.39②

続けて、米岡光子さんは、このようなことも仰っています。人から信頼される服装について、次のようなことを仰っています。

「おしゃれ」と「身だしなみ」は違います。

「おしゃれ」は、自分の好きな服を自分流にアレンジして着るという自由な感じ。

「身だしなみ」は、相手に好感を持たれるような服装をすることが第一。自己主張の道具ではなく、相手から信頼される服装を心がけることが、原則です。

(中略)

仕事着は勝負服。作家の故向田邦子さんは、家でゴロゴロしていても、いざ書き出すとなると仕事着に着替えたそうです。

肌触りの良い、上質な素材と体になじむ良い仕立ての服を選び、それを「勝負服」と呼びました。

仕事は真剣勝負。だから、勝負服には元手を掛けたと言います。

ビジネスの場で何をどう着るかは、好きだから、着たいから、ではなく、「勝負服」の精神を持つべきでしょう。

就職活動も「スーツが勝負服」です。とりあえずスーツを一着持っていれば何とかかなります。



衣替えも終わり、制服も冬服に替わりました。みなさんきちんと「身だしなみ」を整えられていて素晴らしいと思います。

ところで、みなさんにとっての勝負服は何でしょう。もし、今、就職活動をするのであれば何を着るでしょうか。高校を受験するときや冠婚葬祭には何を着ていくでしょうか。言うまでもなく、みなさんにとっての勝負服は制服です。そして、制服を着るときに必要なのは「おしゃれ」ではなく「身だしなみ」です。身だしなみを整え、制服を正しく着こなすことは、箕島中学校の看板を自分が背負っていることを自覚し、自分の言動を正していくことにつながります。

みなさん、これからも「制服＝勝負服」の精神を持ち、「身だしなみ」を整えて生活を送っていきましょう。

